

令和3年度第5回八幡平市環境審議会 会議録

日 時	令和4年2月28日（月） 10時00分～12時00分
場 所	八幡平市役所 3階 大会議室
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 報 告</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 八幡平市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）年次報告について</p> <p>5 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第2次八幡平市環境基本計画について</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉 会</p>
出席者	<p>【委員 11人／15人中】</p> <p>竹原明秀委員、富岡治安委員、遠藤忠志委員、高橋正志委員、高橋富一委員 田中耕一委員、高橋恵子委員、畑山勝美委員、川村裕二委員、田村正之委員 芳門重信委員</p> <p>【事務局等】</p> <p>佐々木市長</p> <p>企画財政課長、総務課長、まちづくり推進課長、農林課長、建設課長 農業委員会事務局長、教育総務課長、上下水道課長</p> <p>（事務局：市民課）</p> <p>小笠原市民課長、坂本課長補佐兼環境衛生係長、土村主任、中軽米主任</p>

会議録	
1	開会
2	市長あいさつ
3	会長あいさつ
4	報告
(1) 八幡平市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）年次報告について	
事務局	令和2年度実施状況について報告
	質疑応答
委員	<p>温室効果ガスの件です。1つ目は、2018年度が最新のデータなんですけれど、私、前からしつこく言っているんですけど、やっぱり最新データが2年遅れというのはどうも腑に落ちないということで、岩手県とか資源エネルギー庁とかに、12月にメールを出して直接お伺いしたんですね。色んなところからデータを引っ張るためにどうしても正確な値にするためには2年必要だということで、これは致し方ないかなとは思いますが、概算値でも良いから、昨年度のデータを独自の指標でも使ってもいいからトレンドとして追いかけていかないと、どうしても後手後手になってし</p>

	<p>まう。やってるんだけど、それがどう反映されたかというのがどうしても分からない状態で進んでしまうというのは非常にまずいと思うんですね。それから2点目ですけれども、2018年度までのデータを見ますと、産業部門として伸びていて、その内訳として農林水産業が、前年度7,000tが18,000tとどんと伸びている。これはちょっとデータとしておかしいんじゃないかと、理由がはっきりと分かっているならば良いんですけど、何か計算方法を間違えているんじゃないかと思うわけですね。突然3倍以上、4倍近くになるというのはちょっと考えられないんですけども、これについて分かることがあれば教えていただきたいのですが。</p>
事務局	<p>1点目については、以前からお話をいただいております、まだちょっとこれを使ったらある程度正確なものをトレンドとして追えるというようなものは確証を持ってはいないのですけれども、一番CO2の排出に影響があるというのは、市の事務事業編でいうと、やはりごみの焼却施設のところになります。区域においてもやはりごみの焼却量が減れば、CO2排出量が減るかなと思っておりますので、県とか国の数値と差が出ないようにここを詰めていって、確認していければいいのかなと考えております。</p> <p>2点目について、正確な確認を取れていないのですが、農林水産業の統計の項目が何点か変わった認識をいたしまして、その影響かなと思うところですが、細かいところまで確認をせずに、ただ集計しただけとしてしまっていました。これまでの年次報告書にあっては、環境省から配布された算定ツールを使って集計をしていたところではあるのですが、第2次環境基本計画の集計においては、同じく国の方から排出量がカルテという形で集計されたものが示されているものを使うことにすることによって、こちらの集計の事務がかなり軽減できるかなと考えております。そのカルテとも幾分かズレがありますので、今後はその部分も確認しながらカルテの数値を使っていきたいと考えております。ただ、そのカルテも年数の遅れはありますので、1点目と同じように、独自の指標と紐づけをしていければいいのかなと頭を悩ませておりますので、何卒ご理解賜ればと存じます。</p>
会長	<p>増加した理由は、事業所が増えたとかそういうことではないんですね？理由はわからないということですね？</p>
事務局	<p>明確な理由はわからないところです。</p>
会長	<p>今後は理由を明らかにしていけないと、説明ができないというのはちょっとまずいかなと思います。</p>
委員	<p>6ページの、子どもの地熱探検隊の参加が5名というのは、すごく寂しい数字かなと思いますけれども、コロナの影響で減らしたとか、少なくとも各学校から1人位は参加があってもいいのかなと思うのですが、その辺はいかがですか？</p>
事務局	<p>こちらは、それまでは環境省の地熱理解促進事業を使って行われていたものを、JOGMECの事業を使って令和2年度から行った事業で、一般公募で行ったもので、なかなか参加者が集まらなくて5名ということだったのですが、令和3年度は各小学校に対して案内をして、希望する学校に対して事業を行ってまして、2校で20名弱位には増えている事業になります。詳細は省かせていただくんですけども、非常に人気</p>

	な事業でしたので、施設の受け入れ人数もありますし、コロナのこともありますので、少人数ずつにはなると思うのですが、希望する学校には、地熱の理解を深めてもらうということで継続していければと考えているところであります。
会長	こちらは、令和3年度版ということで、令和2年度の実施状況ですが、第2次は令和4年度からですから、令和3年度分も報告があるんですね？
事務局	はい。令和3年度の実施状況については、各課から実施状況を取りまとめまして報告を行うのですが、6月か7月には報告できるような形で進めていきたいと考えております。
会長	新たに第2次の計画に入るということは、これは令和3年度でまとめるという格好になるのであれば、報告書が令和3年度分だけではなくて、これまでやったもののまとめという格好で出てくるのでしょうか？もう少し、各年度どうであったかという推移がわかるようなものを出されますか？
事務局	今年度の報告も、これまでの形式を踏襲して報告してきましたけれども、前年度の数値が入っていませんので、次回報告の際には推移がわかるようにまとめて、報告させていただくようにしたいと思います。
会長	排出状況というところが一番重要にはなるかと思うんですが、各年度どうであったかというのが、各推進状況というところに入ってくれば、全体がつかめるのかなと思いますので、可能であれば入れていただければと思います。それでまとめてというようにしていただければと思います。最終的には、中間目標の期間までは行っていませんが、結局のところ、温室効果ガスは減っているということでよろしいですか？1人当たりマイナス15%というのは、クリアしているということでよろしいですか？
事務局	この1人当たりのところは、人口の影響が非常に大きく出てしまうのであれなんですけども、第2次基本計画のところには記載しましたが、区域の削減というところでは、目標数値を見直す前の段階ではギリギリ削減目標を達成しているような状況にありました。ただ、削減数値を、国の目標に合わせて引き上げたので、そうすると削減量が足りなくなってくるので、さらに事業の強化が必要になってくると認識しているところです。
会長	その辺のところまで、最後はどこかに書いていただければよろしいのかなと思います。目標に対する達成度という格好で示していただければよりわかりやすいかと思います。 他に皆さんの方からなければ、次に移りたいと思います。
5 議事	
(1) 第2次八幡平市環境基本計画について	
事務局	前回からの修正点を説明
	質疑応答
会長	基本方針4の最終目標の下4つに、目標数値がないですね。ない理由というのはあるのでしょうか。ない理由を書く必要はないのでしょうか。総合計画等で示されていないということなんですかね。
事務局	会長がおっしゃる通り、総合計画に盛り込まれている指標をこちらでも使用してい

	ますので、最終目標については現在のところ定まっていないということになります。
会長	目標はあるんだけど、目標の数値がないということですよ。斜め線を入れるよりは、言葉で書いた方がよろしいかと思えます。これだと目標がないというように捉えられてしまうのではと思います。
事務局	標記の仕方について、文言を入れたいと思います。今時点ではこう入れるというのは言えないですが、検討させていただきます。
会長	同じように、15 ページ、17 ページのところでも中間目標で横線が書いてあるんですよ。これは目標がないということなのか、どういうことなんでしょうか。
事務局	こちらは、市民に対する意識調査を中間見直しの際には予定していなかったもので、横線を入れたものです。
会長	中間評価の意識調査を行う予定はないということですが、それはいかがなものでしょうか。目標がないということですね。何か書かれた方が良くもありませんね。
事務局	この年度に総合計画の見直しがありますので、そちらを参考にしまして、中間評価の際にはこちらに何かしらを記載させていただきたいと思えますので、今時点では中間目標の数値は入れられないので、ご了承いただければと思います。
会長	しっかりと引継ぎをお願いしますね。このままやらないというのではなく、別のものを使うけれども評価はするというごをお願いします。 別表 1 に関する説明はありますか。
事務局	別表 1 について説明
会長	こちらは今回審議するようなことではないかと思えますが、目安ということで参考に示されているということによろしいでしょうか。
事務局	そうですね、市の事業の目安と捉えていただければと思います。こちらは令和 4 年度からの計画になるので、年次報告は令和 5 年度の審議会において報告させていただくこととなりますが、その際には文言でまとめたものこの表で報告させていただくことで考えておりました。
会長	項目が多いのですが、委員の方々はそれぞれの団体を代表してお越しいただいていますので、よろしければ自分の関連するところだけでも見ていただいて、ご意見をいただければと思います。新たな項目というものもあるんでしょうか。
事務局	3-1-2 循環型まちづくりのところでは、課題となっている生ごみの処理について新たに項目を追加しております。燃えるごみの水分が一番の課題となっていますので、担当課としてはゆくゆくは生ごみ処理機の導入をできればと考えておりますが、予算の兼ね合い等もありますので、まずは市民に対して生ごみの水切りをお願いしますという普及啓発のできるのところから取り組んでいくという内容にしております。それから、3-2-2 プラスチックごみの分別回収について、ごみ処理の広域化との関係があるので、現段階で決まっていなところもあるのですが、広域でごみ処理をする場合には、プラスチックごみの分別収集については当然実施していかなければなりません。八幡平市ではまだ実施していませんので、プラマークの付いた容器包装プラについて分別収集をしていくにあたって、まずは周知であるとか、徐々に取り組んでいくという内容になっています。(以下、例の説明)

<p>会長</p>	<p>市民課が担当なので自分のところからこれを出したという格好かなと思いますけども、他の課からは特段出ていないですかね。多分こういうのは、PDCA の中で出て来るべきですね。新たなものを出すとか、実施済みなのでこれは終了だよとか、出し入れがいくようなものの書き方をしていかないと、計画の見直しのところにそれがかかってくるのかなと思います。それを十分行っていただいて、新たなものを出して行って、より環境をという方向に向かえばよろしいですかね。PDCA の最後、チェック、見直しのところにだけ出てきているのですが、どこか序文のところとかに、積極的に見直しを行って対応するというようなことが書かれてもよろしいかなと思ってはいます。</p> <p>市長さんどうでしょうか、環境に関してこれを積極的にやっっていこうとか何か話はありませんでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>ただいま説明のありましたこの事業の取り組み方については、当然毎年度の予算で全て実施できるのかというのは年度毎に判断しなければならないわけではあります。掲げた事業がいわゆる施策としてこの計画に反映された時に、施策の目的、目標を達成できるものなのか、事業の点検評価を当然毎年度しっかりやっっていかなければならないわけですので、ここに事業を載せた以上は、しっかりと予算化しながらやっっていきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>そうしますと、取り組み内容の文言については多少変わるかもしれませんが。行うのではなく、検討し、実施の方向を目指すということも中には出てくるかもしれませんね。いずれにせよ実施事業に関しては、今後とも変更があるという前提でいただきながら、それに応じて全体の基本計画に関して、これで決めるということになります。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>点検評価表について非常に項目が多いわけですが、相当な業務量を忘れないようにしなければならないという視点で見ました。私も現役の時は ToDo リストを作って管理していましたが、項目は違えど同じような内容のものもあるので、ある程度まとめてもよいかなと思うものもありますので、漏れないように工夫してやっただけだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>ごみ処理の方向についてどうなるのか、現状がどうなのかを教えていただければと思います。ごみ処理の広域化の計画があって、その中にはプラスチックの分別についてこれから取り組まなければならないというのが出ていますし、うちの方でやっっていないもので言うと、紫波町で生ごみの堆肥化というのがやられているわけですが、広域処理になる場合、その辺を検討いただければと思います。もう1つは、ごみ処理の広域化によって、運ばなきゃいけないわけですね。わざわざ遠くに運んで行くわけですが、CO2 の排出削減の面でどうなのか、その辺の今後の見直しをお聞きしたいのですが。</p>
<p>市長</p>	<p>ごみの広域処理に関する状況を説明</p>
<p>会長</p>	<p>そういう状況ではあるんですが、基本方針3の中においては、特にそれに触れる必要はないですね。一般廃棄物の総排出量とか資源ごみ集団回収とか、リサイクル率という表現で書かれているので、どこで燃やすかという議論はここではしないと。ただ、</p>

	20 ページの現状と課題のところでは、生ごみの問題とプラスチックごみの問題が書かれているということで、ではどうするんだという話が、問題点は指摘されているけれど成果指標の中には、生ごみ、プラスチックごみという言葉は、先ほどの予算の兼ね合いもあって目標値の中には指標としては出しづらいということなんですよね。それと広域化とは切り離して考えるということですのでよろしいですね。
事務局	はい、広域化の絡みもありますので、成果指標には盛り込みませんでした。当然やっつけていかなければいけないものについては、積極的に取り組んでいきたいと考えております。
会長	ちなみに、資源ごみという中にプラスチックごみは入るんですか？
委員	資源ごみの集団回収は、地区とか子ども会という方々の、アルミ缶とかスチール缶、古紙とかそういったものについて計上しておりますので、プラスチックごみについてはこの中には盛り込まれておりません。
会長	そうすると仮にプラスチックごみの分別をするとすると、上の一般廃棄物が減るんですかね。
事務局	一般廃棄物総排出量は、リサイクルされるものもリサイクルされないものも全て含んだ総量ですので、プラスチックごみを分別すると、その下の一般廃棄物のリサイクル率において、現在はプラスチックごみがリサイクルされていませんので、ここに反映されてくることとなります。
会長	特にその部分は書かれていないんですね。農業のものに関しては出てきますが、かえって書く必要はないのかもしれませんが、リサイクル率が今の倍になるというところの中に、プラスチックをリサイクルすれば倍までいきますよということですね。そうすると、やっぱりやらないといけないことなんですね。
市長	リサイクル率の向上に関しては、プラスチックごみの資源化というのは当然大きいわけですが、それ以外にもですね、いろんな要素がありまして、焼却灰の処理の仕方もリサイクル率に影響します。滝沢・雫石の環境組合では、熔融炉と言いまして、非常に高温でゴミを溶かすということで、溶かした後でできた灰を、道路整備の材料に使ったりとか、いろいろなことをしまして、最終処分場に持っていかないというだけでもかなりのリサイクル率になっているということでありますので、色々な要素がありますので、色々な取り組みをしながらリサイクル率を上げていくということを目指しているものであります。
会長	報告書は最終的には印刷物にするんですか？このままホームページに載せる格好にするとか。
事務局	かなりの分量になりますので、冊子での市民への配布は予定していなかったのですが、ホームページへの掲載はもちろん行いますし、市民意識調査の結果で、第1次計画の周知が全然だったという意見がほとんどでしたので、まずは直近で5月の広報になろうかと思いますが、特集ページを組んで、基本方針5つが分かりやすい形でまとめて、市民の方々にもこういう取り組みをお願いしますというような周知を行いたいと考えております。後は、2か月に1回程度になりますが、広報で環境・衛生ワンポイントという特集がありますので、細目に情報発信をしながら周知をしていけ

	ればと考えているところです。
会長	よく、パブコメがないというところでどうしてかということ、パブコメを求めていること自体も広がっていないというかですね、なかなか広めていくことは難しいかと思うので、その特集号をしっかり作って頂いて、皆さんにまず見ていただくことを目指していただければと思います。
委員	提案を2点ほどしたいと思います。今日の岩手日報に、洗濯業界脱プラスチックへというのが載りました。プラスチック資源循環促進法というのが今度の4月1日から施行されるのに伴って、洗濯屋さんが非常に困っていますということでした。市の方でも何かしら洗濯屋さんへ出されるかと思しますので、こういうのを率先してやって、写真付きで広報に載せたら、皆さんもう少し行動が変わるのではないかと思って紹介いたします。もう1点は、公共交通機関の利用ということで、大更駅前が整備されて非常に明るくなりましたが、非常に残念なことに電車がいないんですね。何時間に1本しか来ないので、それを利用して盛岡に行こうとか、どこかへ行こうということにならないんですね。それで私が提案しているのは、せめて大更までは本数を増やして走らせてもらうようにした方がいいということです。
市長	ありがとうございます。なかなか難しい問題でございますが、花輪線は、大更、平館までは相当に乗車があるものと思っております。ただ、大更、平館までとなると、花輪線は好摩からなので、その区間だけということになりかなり厳しいこととなります。さらにはJRの方では全国の赤字路線は見直しという動きが出てきていました。これまでは花輪線は廃止しない、存続して頂けるという約束できておるわけですが、その辺の見直しがまた迫られてくる危険性があると構えておるところであります。電車からBRT化するという話も将来的には出てきかねないといった状況なのかなと思っております。当然、現状のままで続けていただきたいことは強く訴えていくわけですが、一方でここまでダイヤが減らされてきて、この庁舎が建ったときには8往復あったものが、駅を持って来たときに1本減ったという非常に悔しい思いをしたところです。そういう中で増やすことは非常に難しい、その通りかなとは思いますが、いかに市民の利便性を確保するのかを考えたときには、例えば好摩の駅から大更、平館、松尾辺りまで、市町の範囲を越えるわけですが、コミバスで送迎バスをやれないかですとか、色んな観点を考えながら市民の足を確保していく方向で頑張っていきたいと思っております。
事務局	1点目のご提言についてですが、現在、市で手数料の予算を取っているものはないところですが、ご提言は非常に参考になりました。各種団体さんがそのような取り組みをされている場合には、情報提供をいただければ、広報等で紹介をしていきたいと思しますので、よろしくお願いします。
副会長	今回この環境基本計画をまとめていただいたわけですが、前回基本計画をまとめた時から環境の状況はだいぶ変わってきております。温暖化の関係ですとか、資源循環の関係ですとか、環境に関わることは日々変わっています。今お話がありましたとおり、プラスチックの関係についても、新たな法律が施行されて、4月1日から変わるということで、今後ともですね、環境に負荷をかけないような施策というのが打ち出

	<p>されていくかと思うんですが、その都度この審議会においても色々と見直しを図りながら、より八幡平市の環境を保全していくということで進めていきたいと思しますので、皆様方におかれましても、今後とも環境への負荷を減らすということでご協力をいただければと思います。</p>
会長	<p>まとめという方向に向かっていますが、市民から公募ということで、いかがだったでしょうか。</p>
委員	<p>私、会社で ISO の事務局をやっています、その流れで環境について八幡平市でどういう取り組みをやっているのだろうなということで、参考になればということでお話をいただきました。やっぱり目標をきちんと決めて、それについて目指していく、そういう流れが非常に大切で、例えば PDCA にしたって、誰がチェックするのか、だれがアクションを取るのか、誰が責任者なのかということもきちんと決めていかないと、どうしても歯止めがかからない、やるべきことがなされていないということになってしまいがちだと思うんです。そのことは前にも何度かお話ししたんですけども、そこら辺をもう少し明確にしていけば、やりやすいんじゃないかと思えます。最終的な責任は市長さんが取られるわけですけども、その前の段階で推進責任者とか、監査員とか、そういうことをもう少し詰めていかれると、PDCA をもう少し上手くメリハリをつけて回せるんじゃないかと思えます。あともう 1 点要望なんですけども、広報ということで、ホームページを色々使っているんですけども、例えばこの前のパブリックコメントの募集が新着一覧というところに載ってこなかったんですよ。載ってこないということは、探しに行かないと分からないんですね。普通の人は新着情報一覧を見て、こういうことやっているんだということで終わっちゃうんですね。だから、ホームページの作り方を、もう少し見る人の立場に立って改善していただければなと思います。あと広報誌についても、2 か月に 1 回とお話がありましたけど、私は欲張りなので、毎月 1 ページをもらって色んな情報を発信したらいいと思うんですよ。そこら辺はぜひホームページ共々、もうちょっとやっていただければと感じました。</p>
会長	<p>私、子どもたちに対して、何かこういう環境問題をうまく街の環境はこうですよというのをアピールするようなものができていかないと、今後の八幡平市の将来というのが見えないのかなと思っていて、子ども向けのホームページはなかったんですけど。小学校でも情報教育でインターネットも使っていて、子ども対象の教材もたくさんあるんですよ。今後そういうものも活用して、作って頂きながら、この地域はこうなっていますよとか、環境はこうですよとか、アピールしていてもいいかなと考えてはいました。確か、県の幸福度でしたっけか、将来展望とかそういうところも含めて、子どもたちも含めた若い人たちが参加され、考えていくようなものに向かうといいかなと思っていました。</p> <p>ちょっとした字句の修正とかあるかとは思いますが、あとは事務局にお任せすることによってよろしいでしょうか。基本的にはこれで答申ということで審議は終わりとしたいと思います。</p>
6	その他

事務局	委員の皆さまにおかれましては、5回に渡ってご審議をいただき、このように計画をまとめることができました。大変ありがとうございました。この計画に盛り込まれた施策事業に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。この計画に関しましては、令和8年度が中間見直しの年となっておりますが、その前に見直しが必要となれば、柔軟に対応してまいりたいと思います。
7 閉会	